

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 798 Aŭgusto 2017

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurō minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU
Kannonmen 14-1, Kusiki, Kitanada-tyō, Naruto-si, Tokushima-ken, 771-0371, KITANI Tomoko

ENHAVO

震災支援を通じて知ったエスペラントの無限の力...堀 泰雄 1-2
計報: 峰芳隆さん..... 1
初心者のための語尾なし単語の使い方 (56) ... 相川 節子 2
楽しい作文教室 (73)..... 塚本 猛 3
Kajero Libervola: Bitlibro YAMAGUTI Sin'iti 4
モバード俳句 (53) 広高 正昭 5
対訳: 私はかうして死んだ! (7)
..... 平林 初之輔 / belmonto 6-7
書評: El la „Verda Biblio” 伊藤 俊彦 8
第104回日本エスペラント大会 3-a Informilo9-12
第66回東海エスペラント大会報告..... 堀田 裕彦 13
片岡忠さんを悼む..... 菊島 和子 14
各地の機関誌から: La kantado de “Ekfloros floroj” publikigita de NHK.....GOTOO Hitosi 15
Salono: 御詠歌の翻訳を..... 江川 治邦 16
長崎の子供たちのソウル UK 行き断念..... 盛脇 保昌 16
La Movado: 宇土、福岡、香川、宮崎、京都ほか... 16-17
Vortkruca enigmo / 作文教室成績 18
Mikspoto / 作文教室課題 /KLEG 事務局だより 19
編集ノート 20

震災支援を通じて知ったエスペラントの無限の力

堀 泰雄 (群馬県)



第65回関西エスペラント大会で、群馬エスペラント会の堀泰雄さんに講演していただきました。大会に出席できなかった読者のみなさんのために、講演の要旨を記事にお願いしました。(編集部)

エスペラントと東日本大震災、この2つの要素が結び合って、被災者への大きな支援もできたし、エスペラントを通じて震災を世界に伝えることができた。その中で、エスペラントで世界が変えられる、あるいは変えた、という実感を持った。本当にエスペラントの持つ力はすごい。しかし、エスペランチストと自称する多くの人でも、それは堀さんの大言壮語にすぎず、エスペラントにそんな力があるとは信じていないのではないかと。

エスペラントの運動面での特徴は、

- (1) 世界に広くエスペランチストがいる。
- (2) エスペランチストは意識の高い人である。

- (3) エスペラントの連絡網がある。
 - (4) エスペラント界には、様々な運動体、趣味のグループ、様々な職業の人が存在する。
- ということだと思う。この豊かな「特徴」を使って、私はこれまでも様々なことをやってきた。たとえば、Delegita Reto や大会の場を使って、世界の絵はがき集め、カレンダー集め、世界の平和メッセージ集め、エッセー集めなど。最近、インターネット時代の利点をいかして力を入れているのがエスペラント大相撲である。これは、2009年秋から始め、2017年5月には46回目の開催(世界31か国から385人が参加)、参加者は延べ6916人。この間415,000ページが読まれ、それは200ペー

峰芳隆さん死去

関西エスペラント連盟の事務局長を長年勤め、本誌の編集部でも中心的存在だった峰芳隆さんが6月5日に逝去されました。享年75歳。追悼文をお寄せください。(詳しくは編集ノートをごらんください)

ジの本に換算すると 2075 冊になる。これは、エスペラント運動への素晴らしい貢献である。この「相撲」の副産物として、私の元に 2000 人近い人のメールアドレスが集まった。このおかげで、次に書く Raportoj el Japanio を世界中に拡散することが出来るようになった。

東日本大震災が起こってから、私は岩手県釜石市唐丹（とうに）の子ども 100 人を支援する運動に加わっている。そのため、被災地を訪問することが多くなり、ある意味では Raportoj el Japanio を書くために、福島も含めて被災地を定期的に訪問し始め、既にその回数は 50 回を超える。

この運動を支援してくれるのは、多くがエスペランチストである。また、支援の一環から始まった「鎮魂の歌」の普及活動でも、日本のエスペランチストが素早く YouTube へ載せてくれ、更に歌はカナダのエスペランチストへ伝わり、日系人の間に支援の輪が広がった。

唐丹支援の運動に、思想的な背景を与えてくれたのは、戦後に J E I の理事などをした安積得也というエスペランチストの「善循環」の考え方である。

私は 1991 年から、日本のことをエスペラントで世界に発信する活動をしてきた。その Raportoj el Japanio は、今年で何と 20 冊目になった。しかし、このシリーズが本当に意味を持ち始めたのは、震災を扱った第 15 巻目（「2011 年の日本」）からである。大震災は、津波被害だけでなく、原発被害も伴った。これは世界史的に重要な出来事であり、世界への警鐘である。私は、被災から立ち上がる日本人の姿、原発事故に翻弄される人々を描き、冷酷に被災者を切り捨て、原発を再稼働させる政府や財界を、世界

に告発し続けた。世界の 2000 人ほどのエスペランチストに送り、フランスでは 2 人のエスペランチストが私の報告をフランス語に翻訳し、それを反核団体などに送ってくれた。そんなことでは世界は変えられないかのように思えたが、そうではなかった。ある日ニュースが来た。「Jasuo、あなたの報告がもとになって、パリで福島第一原発が演劇になったよ」と。私は感動した。私の報告が、世界中の人を動かしているのだ、と。

私は、更に世界に向けて別の本を出版した。それらは、「震災の記憶」「震災の遺品」という写真集、そして今年は「震災鎮魂句」を出した。これら日エス対訳の本は、600 部から 1000 部印刷し既に売り切れた。ベトナムでは、ベトナム版の「震災の記憶」を出してくれた。エスペラントで、フランス講演旅行も震災後 3 年間続けた。これらの活動で「ラジオ深夜便」にも出演した。これらは全て私のエスペラント活動から生まれ、それが私の周り、更にはラジオで、見知らぬ人へ、パリの演劇で見知らぬフランス人へ、ベトナム版の本で見知らぬベトナム人へ、つながっていったのだ。

多くのエスペランチストは、エスペラントを「趣味」としてやっているようだ。趣味でやっているから「eterna komencanto」と大して恥ずかしくもなく自分も紹介できる。私にとってはエスペラントは社会変革の道具である。皆さんは、諸国民の融和、世界の平和を求めるザメンホフの理想に感動してエスペラントを始めたのではなかったか。皆さんがもう一度その原点に戻って、考え行動し始めれば、エスペラントは大きな波になって世界を変えていくことが出来るだろう。

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (56)

相川 節子

接続詞 (9) ke

これも初心者の段階で習う接続詞です。ぜひ使いこなせるようになっていただきたい単語ですが、そのためにはたくさんの例文に出会うことが必要です。

①「～であること」の意味に使われる。

Mi kredas, ke sur Marso troviĝas ia vivaĵo.

(火星には何か生物がいると、わたしは信じています)

Zamenhof skribis al la gepatroj, ke li nur 19 rublojn elspezas en monato.

(ザメンホフは両親に「出費は月 19 ルーブルだけです」と書き送った)

Mi multe dankas, ke vi donacis valoran libron.
(貴重な本をくださったことに深く感謝します)

Estas ĝojinde, ke ŝi resaniĝis.
(彼女が健康を回復したことは喜ばしい)

[→ p. 15 下段へ]



①彼女は友達と顔を合わせてしゃべるのが好きだ。

【訳例 1】Ŝi amas babili kun siaj amikoj vizaĝo al vizaĝo. (Fumi)

【訳例 2】Ŝi ŝatas babili kun amikinoj vizaĝo kontraŭ vizaĝo. (Orion)

【訳例 3】Ŝi ŝatas babili vid-al-vide al siaj amikoj. (M.H.)

「友達」は親しく交わっている人のことなので、**amiko** (友、仲間) が使えます。日本語には「数」という文法範疇がありませんが、元は複数の友人を指していたようです。相手が複数であれば **amikoj** にします。特に女性の友達としゃべると言いたいのなら、訳例 2 のように **amikinoj** にします。

「しゃべる」は、無駄なことを口数多く話すことです。ですから、**babili** (雑談する) でいいでしょう。「〜と」には **kun** (〜とともに) を使うことが多いようです。**al** (〜の方へ) だと、一方的にしゃべるような感じがします。

「顔を合わせて」には、訳例のように **vizaĝo al vizaĝo** (向かい合って) や **vidalvide** (対面して) が使えるでしょう。**rekte en la vizaĝon** (面と向かって) や **renkonte** (出会って、〜に向かって) は少し違う感じがします。

②茶話会のためには時間を惜しまない。

【訳例 1】Ŝi ne domaĝas tempon por tekunveno. (ikona, AG, M.H.)

【訳例 2】Por ĝui tekunvenon ŝi ne domaĝas tempon. (Orion)

【訳例 3】Por tekunveno mi ne domaĝas tempon. (Eiko)

「茶話会」は **tekunveno** で表現できるでしょう。**kafobabila kunveno** はコーヒーを飲みながら雑談する会合ですが、「茶話会」にも使えると思います。そのような会合を、**klaĉi** (ゴシップをいいふらす) を使って、**kafoklaĉo** ともいうようです。

「惜しむ」は **domaĝi** (出し惜しみます) で表現できるでしょう。**ĉielo** さんのように **ŝpari** (節約する、出し惜しむ) も考えられます。惜しむ対象の「時間」は **tempo** (時間) ですね。eĉ **tempo** にすると「時

間でさえも」と強調することになりますが、そこまでの必要はないと思います。

③でも、電気通信は大嫌いだ。

【訳例 1】Tamen ŝi abomenas telekomunikon. (T.Ku, alfa)

【訳例 2】Sed tamen ŝi treege abomenas telekomunikon. (Fumi)

【訳例 3】Tamen ŝi tre malŝatas telekomunikon. (Orion)

「電気通信」には **telekomuniko** が使えます。**tele-** は非公式な接頭辞として **televidi** (テレビを見る)、**teleregi** (遠隔制御する)、**teletajpi** (テレタイプする) などの用例があります。**telefono** は **fono** (背景) との合成語ではありません。

「大嫌い」は **abomeni** (嫌悪する)、**malamegi** (大嫌いである) などで表現できます。**malŝati** (軽視する、嫌う) も使えますが、この語の伝統的な意味は「無価値とみなす」なので、誤解される可能性もあります。

④電話もスカイプも彼女の好みではない。

【訳例 1】Nek telefono nek skajpo plaĉas al ŝi. (ヒー坊)

【訳例 2】Ŝi ne ŝatas telefonon nek skajpon. (M.H., alfa)

【訳例 3】Nek skajpon nek telefonon ŝi preferas. (Acuko)

【訳例 4】Ŝi malŝatas ne nur telefonon sed ankaŭ skajpon. (ikona)

「電話」は **telefono**、「スカイプ」は **skajpo** です。「電話」といっても実際には **poŝtelefono** (携帯電話) や **smartfono** (スマートフォン) が多いでしょう。なお、**fono** が付く **gramofono** (蓄音機)、**mikrofono** (マイクロフォン) も単一語根です。

「好み」を動詞で表現する場合、**plaĉi** を使うのなら、好まれるものを主語にします。**preferi**、**ŝati** では好まれるものを対格で示します。名詞で表現する場合、**gusto** (趣味)、**plaĉo** (好感)、**prefero** (選択) などが考えられます。**kaj telefono kaj skajpo ne estas laŭ ŝia gusto** のように言えるかもしれませんが、動詞にする方が楽な感じがします。訳例 4 は少し意味が違いますが、表現方法の参考になるでしょう。

成績は p.18、新しい課題は p.19

紙の本ではなく電子書籍が売り上げを伸ばしつつある。電子書籍の長所とは？ マーケットサイズの小さなエスペラント界でこそ電子書籍のメリットは大きい。

Mi ŝatas librojn; pli ekzakte, ne nur legi librojn, sed ankaŭ vidi, aĉeti, posedi kaj foliumi librojn, se ne finlegi. En mia infaneco librolegado estis mia preskaŭ sola ŝatokupo.

Post mia universitata diplomigo mi eklaboris kiel komizo de granda librovendejo. Estis amuze tuŝi kaj vidi ĉiutage enportitajn novajn librojn kaj gazetojn. (Sciu tamen, ke komizo de librovendejo ĝenerale ne havas liberan tempon por legi vendatajn librojn en sia deĵoro.) Sed post unu jaro mi ekŝigis de la librovendejo, pro ĝia severa laborkondiĉo kaj mia nesufiĉa fizika forto.

Lastatempe, kiel vi scias, librovendejoj iom post iom malaperas el kvartalo. Oni povus mencii kelkajn kaŭzojn pri tio. Interalie la plej grava kaŭzo estas la apero kaj evoluo de reta vendejo, kiel ekzemple *Amazon*. Tion mi kiel eksa librovendeja komizo rigardas iom sentimentale. Eĉ en la plej granda librovendejo oni ne povas ekspozicii ĉiujn eldonitajn librojn. Dum 770,000 titoloj estas vendataj en Japanio, nur kelkaj procentoj da ili estas ekspoziciataj dum tre mallonga tempo en detala vendejo. Poste nevenditajn librojn vendejo resendas al eldonejo. Tio estas neevitebla, ĉar spaco estas limigita. Sed reta librovendejo ebligas al ni serĉi ĉiujn librojn kaj liveras tuj menditajn librojn.

Ankaŭ formo de libro ŝanĝiĝas. Temas pri bitlibro, kiun oni legas sur ekrano de komputilo aŭ de tabulokomputilo. Antaŭe mi ne ŝatis bitlibron, ĉar mi amis tuŝi kaj foliumi paperajn librojn, amis vidi ordigitajn librojn en miaj libroŝrankoj. Sed mia hejmo ne estas

palaco. Mia modesta ĉambro ne permesas min aĉeti tiom multajn librojn aldone al ĝis nun akumulitaj. Do mi iom post iom transiras al aĉetado de bitlibroj. Grava avantaĝo de bitlibro por mi estas, krom ŝparo de spaco, ke por miaj kadukiĝantaj okuloj estas pli facile legi bitlibron, ĉar sur komputila ekrano mi povas grandigi literojn kiom ajn laŭ mia prefero.

Cetere oni povas marki preferatajn frazojn, almeti noton kaj enmeti paĝosignilon en bitlibron, tute same kiel en paperan libron. Kiam mi renkontas iun vorton nekonatan, mi povas tuj konsulti vortaron aŭ enciklopedion instalitan en la sama komputilo. Kiam mi vojaĝas, mi povas kunporti plurajn, fakte multegajn librojn metitajn en mia tabulokomputilo, kio malpezigas mian valizon. Aliaj avantaĝoj de bitlibro estas: facila priserĉo de vortoj aŭ frazoj, ŝparo de kosto kaj tempo rilate al transportado, ĉar oni povas tuj enmanigi deziratan libron sen transportado.

Kvankam bitlibro pli kaj pli multiĝas en la tutmonda libromerkato, ne ĉiuj libroj estis kaj estas eldonitaj bite. Ankoraŭ multaj, precipe fakaj libroj, estas legeblaj nur papere. Supozeble kaj espereble ankaŭ en estonto papera libro neniam malaperos. Laŭ estetika vidpunkto desegnado kaj bindado faras gravan ĉarmon de libro. Ankaŭ tuŝosento per mano kaj pezosento estas neanstataŭigebla valoro. Dezirate estas, ke papera libro kaj bitlibro kunekzistu.

Kiel statas bitlibro de Esperanto? Kelkaj eldonejoj, ekzemple Flandra Esperanto-Ligo kaj *Mondial*, energie eldonadas bitlibrojn. En malgranda libromerkato, kiel tiu de Esperanto, bitlibro havas grandan avantaĝon, ĉar eldonejo ne bezonas zorgi pri stokejo kaj povas ŝpari preskoston. Ekzistas kelkaj cerbumendaj problemoj, ekzemple pri formato aŭ pri vendomaniero. Sed ĉiukaze mi deziras kaj antaŭvidas, ke iom post iom multiĝos bitlibroj de Esperanto.

Rondo Hajkista (53)

HIROTAKA Masaaki (広高 正昭)

世界エスペラント協会の図書カタログをネットで検索していたら、俳句集がいくつか出版されているのを見つけました。そのうちの一つを紹介します。

Ivančka MAĜAROVA, "Araneajoj" (2016)

著者はブルガリア人女性で、俳句以外にも詩を書いているようです。息子2人に孫が3人とか。後書きにあるように、彼女の日常生活の中に生じたさまざまな思いを575に綴ったものです。

110句ほどの作品がブルガリア語と対訳で並んでいます。特徴的な句を紹介すると：

Post la kverelo
mi sternas la tolaĵon.

Infanoj dormas.

よくある家庭内のいさかいを詠んだ句。感情の吐露を抑えたことがより印象を深めています。無心に眠る子どもたちの姿が心の救いです。

Soleca grilet'
venis al mi gaste. Kaj
ni trinkis kafon.

自然や生き物を擬人化して詠むのは、ヨーロッパ人の俳句によく見られる傾向です。

Paro promenis
laŭ la luna vojeto.

Smeralda tago.

恋愛の思い出を詠んだ句。日本の俳句とは違い、言葉で飾ることを好むようです。

Ĉi-foje kvin legantoj kontribuis sume 13 hajkojn. Koran dankon al ĉiuj kontribuintoj. Mi elektis jenajn kvin pecojn. Asterisko post aŭtora nomo indikas pecon modifitan de la elektinto.

Kun sunombrelo
nudaj piedoj dancas
laŭlonge de plaĝ' (Joŝi)

Junulino kun sunombrelo per facilaj paŝoj
piediras sur sabla marbordo. Gaja humoro de

La Movado 798

la ĉeestantoj sentiĝas al la legantoj.

Sin tordas, plonĝas
kaj resaltas al lazur'
karpoj en vento (Takesi)

Karpofiguraj flagrubandoj flirtas en maja aero.
La aŭtoro lerte priskribas la scenon kun vigla etoso.

Babilante kaj
lekante glaciaĵon —
Du geamikoj (Yuko)

Du geamikoj babiladas kun glaciaĵo en la mano. Iliaj buŝoj senĉese moviĝas kaj ŝpinas plezuratan tempon.

Kun peza ŝtono
en brakoj subakviĝi —
Riverkaŝludo (Gruo)

Unuafoje mi eksciis, ke infanoj kaŝludas en rivero. Ja infanoj estas inventemaj. Kara rememoro pri infanaĝo.

aroma vento —
nepo faris unuan
jen sekurbaton (Tokie)*

Sub la frusomera blua ĉielo knaboj ludas basbalon vive kaj energie. Kia ĝojo! La nepo faris la unuan sekurbaton ĉe siaj batoj.

Fine mi prezentu mian pecon.
pluvo ne ĉesas —
sin klinantaj grapoloj
de hortensio

モバード俳句投稿案内 (11月号に掲載予定)

- temo (兼題)：自由題。秋の季語を詠みこむ。(複数投句の場合は無季句を含んでも可)
- 郵送の場合：
作品(3句まで)とローマ字書きの筆名、住所氏名を記載。送り先は、
〒832-0073 柳川市鍛冶屋町39 広高正昭
- 電子メールの場合：内容は郵送の場合と同じ。
送り先は、hirotk-m@nifty.com
- 締切：いずれの場合も8月31日必着。

Mi mortis tiamaniere! (7)

HIRABAJAŝI Hacunosuke
tradukis belmonto (yamasita tosihiro)

Mi iris al la dua etaĝo.

La viro nomata TAMAMURA estis skribanta ion urĝeme antaŭ la skribtablo, sed kiam mi alvenis, li tuj turnis sin al mi, kaj rekomendis sidiĝi afable.

“Mi havas sekretan aferon. Ni volas esti solaj dum ĉirkaŭ kvin minutoj.”

Mi diris, afektante, ke mi zorgas pri la kondukinto.

“Bone. Vi, iru malsupren.”

Obeante la ordonon de la ĉefo, la juna aŭdaculo malsupreniris laŭ la ŝtuparo, ritme paŝante.

Mi estis silenta dum ĉirkaŭ minuto intence, kaj subite alparolis en klara voĉo.

“Mi estas HUNAI Saburo, tiel nomata.”

Mi diris nur tion, kaj fiksrigardadis lian mienon.

Mi tiam tute ne supozis, ke la fizionomio de homo povas tute ŝanĝiĝi tiel subite kaj tiom eksterordinare.

Tute paliĝis TAMAMURA, kiu blufis arogante kiel la ĉefo de la aŭdaculoj, kaj rekte stariĝis kvazaŭ paralizite de elektro, kun lipoj tremantaj konvulsie. Ankaŭ mi stariĝis reflekse, ektimante, ke li faros perfortan agon. Sed mi tuj komprenis, ke li stariĝis pro troa konsterno, ne por doni sovaĝan perforton.

“Kulpa, tute kulpa mi estas. Sinjoro, bonvolu pardoni min!”

Tiel kriante, li subite subgenuiĝis antaŭ mi. Mi estis surprizita ĉi-foje. Mi fakte miris la simplan koron de la tiel nomata aŭdaculo.

Li ne hezitis konfesi la tutan historion al mi. Laŭ ĝi, li eksciis, ke de la Partio xx mi estos la kandidato, kiu havis la vastan subtenon inter laboristoj, kaj li volis eviti ĝin. Li elpensis,

私はかうして死んだ！(7)

平林 初之輔 (1892 - 1931)

私は二階へ上がって行った。

玉村という男は事務机に向かって何か忙しそうに書き物をしていたが、私が上がってゆくと、急に、私の方へ向き直って、さあどうぞと鷹揚(おうよう)に椅子をすすめた。

「ちょっと密談があるので五分間ばかりお人ばらいが願いたいのですが」

と私は取り次ぎの男に気兼ねする様な風をして言った。

「よろしい、君、下へおりていまえ」

親分の命令で、若い壮士はとんとん下へおりて行った。

私はわざと一分間ばかりだまっていてから、突然、非常にはっきりとした声で言った。

「僕は船井三郎という者です」

私はたった一言言って、じっと眼をすえて相手の表情を見ていた。

人間の表情というものが、こうも急激にがらりと一変するものかと私はその時に思った。

壮士の親分らしく、悠然と虚勢を張っていた玉村は、急に真っ青になって、唇のあたりを痙攣(けいれん)的に細かくふるわしながら、まるで、電気をかけられたようにすくと起(た)ち上がった。私も、彼が何か暴行を加えるつもりだろうと思ったので、反射的に起ち上がったが、彼が起ち上がったのは、あまりにひどい驚きのためで、決して暴行を加える意志ではないことがすぐにわかった。

「悪かった、君、僕が悪かった。堪忍してくれ給え」

こう言いながら彼は私の前にとつぜん跪(ひざまず)いたので、今度は私の方があっけにとられたくらいだった。壮士というような人間の心の単純さに私はじっさい吃驚(びっくり)したのだった。

彼はすっかり私に話してくれた。それによると、彼は、労働者仲間に人気のある私が××党から立候補すると聞いて、大変だと思い、私を死んだことにしておけば、後ではどうせいたずらだということが

ke mi estu morta, por malfruigi la procezon de mia kandidatiĝo portempe, malgraŭ tio aperigis bubajo poste. Dume se arde movados la alia kandidato de lia partio ĉe la ŝanco, li povos renversi mian politikan grundon. Tial la ĉefo insidis tian malican farsaĵon.

“Ĉu vi rolis ĝin per vi mem? Aŭ ankaŭ scias karduloj de la partio?”

Mi demandis en interesiĝo.

“Tion faris mi perfekte sola, kun neniu alia koncernato. Tamen mi gajnus rekompencan, se mi estus sukcesinta.”

“Antaŭ ĉio, vi bone eksciis mian referencan.”

“Mi petis priserĉi ĝin en via fabriko. Estroj de via fabriko, kie vi laboras, ne ĝojis vian kandidatiĝon, tial ili esploris ĝin por mia oportuneco.”

“Do, kiu estas tiu persono, kiu mortis je malsano? Ĉu vi mortigis senkulpan homon?”

Li panikiĝis je ĉi tiu demando, kaj haste respondis, kovrante sian ŝanceliĝon.

“Sensenca! Tute ne! Mi trovis lin en *Asakusa*, mortontan survoje. Mi zorgis pri li multe, kaj ankaŭ petis kuraciston ekzameni. Kompreneble mi supozis, ke li vivos dum nur du aŭ tri tagoj. Se vi bezonas tian senutilan homon, vi povos trovi ne malmulte ĉirkaŭ *Asakusa* dum tago. Ankaŭ por li morti sur tatamoj estis pli bone ol morti apud vojo en malsato. Tio estis mia bonfaro al li.”

Li ŝvitis ĉe sia frunto, kiam li respondis. Mi perceptis liajn vortojn veraj. En ĉiu okazo mi ne havis la ideon persekuti lin, tial mi daŭrigis la demandadon.

(daŭrigota)

闇を照らすもうひとつの光 1200 円
片岡忠「盲人エスペラント運動の歴史」
Historio de la E-movado inter la blinduloj 4200 円
1888 年以降の盲人エスペラント運動の歴史をた
どる (Kreitz, Gonin ら編)

わかるにしても一時立候補の手続きがおくれるからその間に、自党の候補が機先を制して猛運動をつづけてゆけば、私の地盤がくつがえせると思って、あんなたちの悪い狂言を仕組んだのだということであつた。

「君の一存でやったのか、党の幹部も知っているのか？」

と私は興味をそそられてきいてみた。

「むろん僕の一存でやった仕事で、誰も外には関係者はありません。もっとも成功すれば報酬を貰うことにはなっているんですがね」

「それにしても、僕の身元がよくわかったねえ」

「それは君のつとめている工場でしらべて貰ったんです。あの工場では君の立候補を喜んでいないから、こちらの便宜を十分はかってくれましたよ」

「では、あの病気で死んだのは誰だい？ 君は罪もない人間を殺したのではないか？」

この質問を彼はひどく恐れていたと見えてあわてて答えた。

「飛んでもない、ちがいます。あれは浅草で行き倒れの行路(こうろ)病者をひろってきたんです。僕はずいぶん世話をやいて、医者にもかけてやりましたよ。もちろん、もう二三日の寿命しかないとは思っていたんですがね。ああいう人間が必要なら浅草辺を一日かかればいつでも探し出せますよ。本人も道ばたで野たれ死にするより、畳の上で死んだ方が楽ですから功德ですよ」

こう答えたとき、彼の額には汗がにじんでいた。私は彼の言葉をほんとうだと思った。いずれにしてもその点を追窮するつもりはなかったので質問をつづけて行った。

(つづく)

エスペラントと平和の条件 1100 円
寺島俊徳著。「平和学からみたザメンホフ」など。
人物でたどるエスペラント文化史 1620 円
後藤斉著。柳田国男、井上万寿蔵、土井英一ら
エスペラント史をいろいろの人びとの軌跡をたどる。

El la „Verda Biblio”

伊藤 俊彦 (愛知県)

Izrael Lejzerowicz 著、Libro-Mondo kaj Grafokom、2014 年刊、63p。購入希望者は KLEG までご連絡を。

「初めに、形のない神秘はヴォラピュックを創造された。ヴォラピュックは形がなく、混沌としていて、闇がその内にあった。そして、形のない神秘は言われた。『光あれ』。こうして、エスペラントがあった。聖霊はエスペラントを見て、良しとされた。聖霊はエスペラントとヴォラピュックを分け、エスペラントを永遠の昼と呼び、ヴォラピュックを夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。」

これは、イズラエル・レイゼロヴィッチ (1901 ~ 1942) の『「緑の聖書」から』の冒頭の一節である。この文章が旧約聖書の創世記冒頭の天地創造のくだりのパロディであることは言うまでもない。本書には旧約聖書の有名なエピソードを踏まえて、同時代のエスペラント界を風刺した愉快なお話が次々に登場して興味が尽きない。登場人物の名前も、Bofrunt は Beaufront の、Junio Pagi は Julio Baghy の、Andreo Apud は Andreo Cseh のものじりである。

その Andreo Apud がクラクフでの第 23 回世界エスペラント大会 (1931 年) で聴衆に向かって、あなたたちは ruĝaj katoj かと問いかけた。聴衆は、いいえ私たちは verdaj azenoj です、と答えた。このお話には、善良なエスペランチストたちに対する愛情と皮肉が感じられる (このくだりは、Raymond Schwartz の Verda Kato や “Verdkata Testamento” (1926) を踏まえているのであろう)。

同時代のエスペランチストは本書を一読して作者の意図をすぐに察し抱腹絶倒したのであろう。しかし、初版刊行 (1935 年) からすでに 80 年以上が経過している。旧約聖書と戦間期のエスペラント運動、同時代史に通じていないわれわれにはピンとこない箇所も多いが、物語の背景をあれこれ調べたり、推理をめぐらしたりするのも読書の楽しみである。

ところで、読み進めていくにつれて、同時代のエスペラント運動に対する風刺にとどまらず、現状への批判の度合いが強まるように思われ、次第に笑えなくなってくる。それは当時の世界情勢、とりわけドイツでナチスが勢力を拡大し、ついには 1933 年

1 月にヒトラーが政権を掌握したという事実に関わっている。例えば、jubilea jaro にケルンで善良なエスペランチストたちが悪魔にそそのかされて焚書しようとするお話が、アブラハムがイサクを神にささげる旧約の物語のパロディとして語られている。これは同年 5 月にドイツ各地で行われた焚書に対する批判である。と同時に、7 月にケルンで開かれた第 25 回世界大会で、ハーケンクロイツを背景にホルスト・ヴェッセルの歌 (ナチス党の党歌) がオルガン演奏された事実も重ね合わされている。

『「緑の聖書」から』に加えて、“Babiladoj kun Horaĉo Serĉer” というタイトルのもとに収録されている 4 編の短編に至っては、主人公の Serĉer の思い詰めたような、いらだたしげな行為と思考は、もはや現状への告発そのものであると感じられる。

なお、本書には収録されていないが、雑誌 Literatura Mondo 1933 年 5 月号に掲載された “sangaj ludoj” は、まさに焚書そのものを正面から取り上げ、批判を加えている。そして、文化を破壊する蛮行に対して正面から向き合おうとしない中立的エスペラント運動をも批判している。そこには作者の鋭い危機意識が見てとれる。

作者は、ポーランドのウッチ生まれのユダヤ人で、戦間期のエスペラント運動で大きな役割を果たしたが、1939 年のドイツ軍のポーランド侵入、第 2 次世界大戦の勃発後、ワルシャワに移り、ワルシャワ・ゲットーの劣悪な環境で過ごし、やがて捕えられてトレ布林カ強制収容所で妻や娘ともども殺された。その生涯は本書の巻末の編者あとがきで詳しく語られている。しかし、作者は亡くなくても、その批判精神は本書に刻印されていて、野蛮と蒙昧が支配する限り、何度でもよみがえる。

本書は、はじめ Literatura Mondo から刊行されたが、のち、2 度にわたり再刊され、ここで取り上げたのは 2014 年刊行の第 4 版である。Libro-mondo (ポーランド) と Grafokom (クロアチア) との共同出版である。なお、本書にはポーランドの俳優でエスペランチストであった Jerzy Fornal による荘重かつ表情豊かな朗読の CD (冒頭の 6 章のみ) がついていて楽しめる。朗読は Varsovia Vento Elsendoj のサイトでも聞くことができる。

(本稿執筆に際して、猪飼吉計氏および小川博仁氏から教示を得た)。

7月31日 第2次締切り
8月1日から参加費改定

La 104a Japana Esperanto-Kongreso
en Jokohamo, Kanagavo, la 3a-5a de novembro 2017

第104回日本エスペラント大会

(神奈川県横浜市)

日 時: 2017年11月3日 (金・祝), 4日 (土), 5日 (日)
会 場: 神奈川県立かながわ労働プラザ (Lプラザ)
主 催: 一般財団法人日本エスペラント協会, NPO法人エスペラントよこはま
協 力: 神奈川エスペラント連盟
後 援 (予定も含む): 文部科学省, (独法) 国際交流基金, (公社) 日本ユネスコ協会連盟, 神奈川県, 横浜市国際局, (公財) よこはま学校食育財団, マスコミ各社

La 3a
Informilo

Kongresa temo: Haveno peras, Esperanto peras

大会テーマ: 港はつなぐ, エスペラントはつなぐ



基調講演 (敬称略)

- ① 木村護郎クリストフ (上智大学教授, 社会言語学者)

「エスペラントは今日の世界に何を提供できるか? — 一方のグローバリズムと他方の自国第一主義に引き裂かれるように見える今日の世界において, エスペラントを使うことは何を意味するのだろうか。そもそもエスペラントが何をくつなぐのかということから問い直してみたい」(日本語講演)

- ② Dieter KLEEMANN (ドイツ在住のエスペランティスト, 元医師)

“La 4a de septembro 2015 kaj la sekvo por la politika kaj socia evoluo en Germanio kaj Eŭropo – Nun estas granda problemo: rifuĝintoj amasiĝas ĉe landlimoj; ĉu akcepti aŭ rifuzi ilin? Ĉu haveno peras? Unu el la ĉefaj obstakloj por integriĝi estas la manko de komuna lingvo. En tiu senco ni esperantistoj el diversaj mondopartoj havas laŭ mi specialan “trezoron” por amike interkompreniĝi.”(エスペラント講演)

Cent jaroj post la forpaso de Zamenhof ザメンホフ没後100年

今年はエスペラントの創始者ザメンホフの没後100年め。この記念の年に, ポーランドエスペラント協会の事務局長 Robert KAMIŃSKI を招いて, 「ワルシャワにおけるザメンホフ, その生活とエスペラントの困難な時代」について講演をしていただく予定。

そのほかに次の方々の講演を予定しています。

Ulrich LINS (*La danĝera lingvo*の作者) “La esperantisto Rudolf CARNAP”について。Carnap (1891-1970) はドイツの哲学者で, 14歳でエスペラントを学び始め…。 “Li defendis la lingvan forton de Esperanto kaj la utilon kaj plezuron, kiujn donas ĝia praktikado. Esperanto estis por Carnap konsistiga parto de lia fido je paca, demokratia mondo…”

ほかに Ronald SCHINDLER (Esperanto-Asocio Berlin-Brandenburgの会長) や Liya MAZIY (スペイン在住のウクライナ人) などが参加の予定。講演は検討中。

外国からの参加者だけでなく, 日本の方々の講演もあります (次ページを参照)。

主なプログラム (計画中)

11月3日 (金・祝) 13:00～16:30 開会行事 (開会式, 基調講演, 分科会など紹介)
17:00～19:00 Arta Vespero (内容は計画中)

11月4日 (土) 09:00～ エスペラント講演, 分科会, 初心者番組, JEI関連番組, 市民向け日本語講演, 市民向け入門講習会。18:00～懇親会 (中華街同發別館)

11月5日 (日) 09:00～ エスペラント講演, 日本語講演, 分科会, 初心者番組, JEI関連番組, Hamalogio など。14:00～閉会式。15:15～大会後観光

さまざまなプログラム

- エスペラント文化講座・萩原洋子「日本にエスペラントが来た道」・川西徹郎「ザメンホフ」・津田昌夫「読書について」・長町重昭「エスペラントで世界を旅して」・田中徹二「盲人とエスペラント」
- エスペラントを深める講座・小川博仁「語源で知るエスペラント」・藤巻謙一「学習のコツ」・田熊健二「相関詞」・相原美紗子「プロンプター付き寸劇の試み」
- エスペラント フィルムの上映・佐口優子「横浜の給食の歴史」・「Plena Rondo 言語の壁を超えて」

- Arta Vespero (計画中)
- Hamalogio (横浜学) 用語はエスペラント。<大会開催都市, 横浜はどんな町か?> 谷川弘「寿町について」, 鈴木恵一朗「横浜のビール」, 南波文晴「横浜の水」, 柴山純一「東海道と東海道線」, 土居智江子「横浜のエスペラント運動」
- 初心者番組
初心者指導の達人たちが, 楽しくエスペラントを学べ, 会話できるように指導。
- 市民向け入門講習会
初めてエスペラントを学ぼうという人たちを対象。指導: 北川昭二

①“Gvidlibro pri Jokohamo”

横浜とその周辺地域の案内書。観光, 歴史, 現代のことなど, さまざまなことを含めた案内書を目ざしています。(編集主幹: 南波文晴)

②『神奈川とエスペラント — 神奈川エスペラント運動史』

神奈川は日本のエスペラント運動の発祥の地。神奈川ではエスペラント運動は元気にあふれた時期, 沈滞の時期もありました。この大会を機に神奈川のエスペラント運動をまとめています。(編集: 土居智江子)

託児所
も用意

加
れ
の
小
さ
な
お
母
様
も
参
連

大会会場 (神奈川県立かながわ労働プラザ) 〒231-0026 横浜市中区寿町1-4 tel.: 045-633-5413, JR根岸線石川町駅下車, 中華街口 (北口) から徒歩3分
JR石川町駅へは、京浜東北線・根岸線 横浜駅から3駅 (桜木町, 関内, 石川町) 7分
宿泊: ホテルなどはLa Revuo Orienta 6月号 p.36~37を参照。

連絡先: 日本エスペラント大会事務局 財団法人日本エスペラント協会内
〒162-0042東京都新宿区早稲田町12-3 <jek2017@jei.or.jp> (第104回大会専用)
電話: 03-3203-4581, FAX: 03-3203-4582 お問い合わせはなるべくメールでお願いします。
ホームページ: <http://www.jei.or.jp/>
参加申込みは郵便振替 00130-4-744162 (日本エスペラント大会A) へ。
振替到着後2週間をめどに受領書 (はがき) をお送りします。

大会参加費など

(単位は円)

参加費	期限→	7月末	8月～	備考 (○印 記念品・報告書あり)
① 一般		6 000	7 000	○
② 障がい者		3 000		○
③ 家族		3 000	4 000	記念品希望者は①でお申し込みください
④ 青年・留学生		3 000		○ (青年は2017年内に30歳になる人迄。生年月日を記入!) (留学生は日本に留学中の外国籍の人)
⑤ 同上 (記念品なし)		2 000		
⑥ 中学・高校生		1 500		単独参加者のばあいは○
⑦ 小学生以下		無料		
⑧ 外国から		2 000		○ 高校生以下は⑥, ⑦でお申し込みください
⑨ 不在参加		3 000		○ 実参加への切替の際は申込日の額との差額を追加で
⑩ 記念写真		1 000		最終日にお渡しします。各自お持ち帰りください
⑪ 昼食I (4日)		1 000		
⑫ 昼食II (5日)		1 000		
⑬ 懇親会 (4日)		6 500		中華街の同發別館 (11-04, 18:00~20:00)
⑭ 大会後観光 A		25 000		江ノ島で1泊。6日の昼食代は別。下記参照
⑮ 大会後観光 B-1		23 000		横浜で1泊, ツイン, シングルの部屋を希望の方は3000円追加。6日の昼食代と市内観光費用は別。下記参照
⑯ 大会後観光 B-2		11 000		宿泊なし。下記参照
⑰ JEI学力検定試験		1級: 5 000/ 2級: 3 000/ 3級: 2 000/ 4級: 1 000		

◆取り消し条件 ①～⑨, ⑰は原則としてお返しできません。⑩～⑯の費用は10月25日までの申し出に限り、返金手数料500円を控除して、大会後に返金します。

- ・参加申込は [郵便振替 00130-4-744162 日本エスペラント大会A] へ
- ・懇親会は第1報では7000円でした。既に申し込まれた方へは現地で差額を返金します。
- ・宿泊ホテルの斡旋はしません。会場近くのホテルはLa Revuo Orienta の「日本大会だより」や、ホームページ <<http://www.jei.or.jp/press/jek2017/>> などでお知らせします。

大会後観光 (11月5日, 閉会式後 15:15～) 申込み締切り: 9月末日 (お早めに!)

- ⑭大会後観光 A 大会会場→鎌倉霊園 (由比忠之進さんの墓参りを計画中) →江ノ島 (岩本楼本館宿泊), 翌日: 江ノ島観光→昼食→水族館→藤沢駅→横浜駅→新横浜駅
- ⑮大会後観光 B-1 大会会場→スターホテル横浜→自由行動 (推奨場所を検討中) →19:30大棧橋からロイヤルウィングディナークルーズ→下船 スターホテル宿泊, 翌日, 外人墓地 (ミスレルの墓), 港の見える丘公園散策→昼食→散策 (場所は検討中) →みなとみらい線の元町・中華街駅解散 (15:30頃)。
- ⑯大会後観光 B-2 大会会場→自由行動 (推奨場所を検討中) →19:30大棧橋からロイヤルウィングディナークルーズ→下船 21:20解散
- 申込み締切り: 9月末日 (Aコースは40人で締め切らせていただきます。人数が少ない場合, コースを中止・変更する場合がありますので, 早めにお申し込みください。他のコースもできる限り早く申し込みをお願いします)
- 取扱い業者: 京浜トラベルサービス株式会社 (神奈川県知事登録旅行業第3-931号)

La 104-a Japana Esperanto-Kongreso, en la urbo Jokohamo

Dato: la 3a, 4a, 5a de novembro 2017

Kongresejo: Kanagawa Roudou Plaza (Naka-ku Kotobuki-cho 1-4, tel.:045-633-5413),
<http://zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/index.html>

Kongresa temo: “Haveno peras, Esperanto peras”

Ĉefaj programeroj

la 3a de novembro (vendredo, ferio)

10:00~ akcepto, 13:00~malfermo, laŭtemaj prelegoj, prezentado de diversaj kunsidoj, 17:00~19:00 Arta Vespero

la 4a de novembro (sabato)

09:00~ 17:00 ekzamenoj, fakaj kunsidoj, prelegoj (Esperante, japane), hamalogo, programeroj por komencantoj, enkonduka kurso, oratora konkurso, filmoprezentado

18:00~ bankedo (en la ĉina kvartalo)

La 5a de novembro (dimanĉo)

09:00~ fakaj kunsidoj, prelegoj (Esperante, japane), programeroj por komencantoj, 14:00~fermo

15:15~ postkongresaj ekskursoj

Ekskurso A: al Enoshima (insuleto ĉe marbordo de la golfo Sagami, en la urbo Huzisawa. Post la kongreso je 15:15 ekskursantoj ekveturos al Enoshima per buso. Tranokto en japanstila hotelo; en la sekva tago, turismo en la insuleto, poste al la nova akvario de Enoshima, disigo

Ekskurso B1: Vespermanĝo en luksa ŝipo *Royalwing* krozanta, tranokto en hotelo ĉe la haveno; en la sekva tago promenado al la Monteta Parko Fronte al la Haveno, vizito de vidindaĵoj en la parko, tagmanĝo, poste disigo **B2:** Vespermanĝo en luksa ŝipo *Royalwing* krozanta sen tranokto

Kotizoj: loĝantoj en Japanio (inkl. eksterlandanojn): 6 000 enoj (ĝis 07-31), 7 000 enoj (de 08-01)

el aliaj landoj: 2 000 enoj

Pri ceteraj kotizoj (handikapuloj, junuloj, lernantoj, moralaj partoprenantoj ktp) demandu Japanan Esperanto-Instituton

Hoteloj: mendu persone (demandu al <jei2017@jei.or.jp>)

Bankedo en la ĉina kvartalo: 6 500 enoj **Foto:** 1 000 enoj

Lunĉoj: en 10-04 kaj 10-05, 1000 enoj potage

Postkongresaj Ekskursoj

A: al Enoshima (tranokto kaj turismo) 25 000 enoj

B-1 en Jokohamo: vespermanĝo dum ŝipveturado, tranokto en hotelo kaj turismo en Jokohamo 23 000 enoj

B-2 en Jokohamo: vespermanĝo dum ŝipveturado, sen tranokto 11 000 enoj

Pri pli detalaj informoj, havu kontakton kun Konstanta Kongresa Komitato,
ĉe Japana Esperanto-Instituto/ JP-162-0042 Tōkyō-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3
telefono.: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582, retadreso: jek2017@jei.or.jp

<http://www.jei.or.jp/>
loka informejo: NPO Esperanto Jokohama
info@esperanto.yokohama

第 66 回東海エスペラント大会報告

堀田 裕彦 (愛知県)



2017年5月27日(土)～28日(日)、「愛知県青年の家」(愛知県岡崎市)の第3研修室および館内宿泊施設で開催された。参加者は31名(不在参加は2名)。

東海エスペラント大会は、ここ数年東海地区有志の持ち回りで開催されている。2017年は、黒柳吉隆、山田義、後藤好美、猪飼吉計(いかいよしかず)、堀田裕彦が有志として担当した。東海地区以外に、東京、神奈川、京都、大阪と各地からの参加もあった。

5月27日(土):13時半、黒柳吉隆の挨拶で開会。参加者全員が順に演壇に立ち、自己紹介と同時に、大会テーマ「あなたが主役で『エスペラント体験』交流」にそった意見をひとりあたり数分の持ち時間で、順に発表した。

アレクサンドラ綿貫が、「Esperanto en Socia Reta Servo」と「Esperanto-Vegana Kafejo」の題目で講演を行い、広報のための手段の特性や、広報材料についての認識を深めた。

学習会チャンプロ・チャルマがアラブ人に扮しての寸劇「Araba saĝulo」を披露した。

夕食のあと、懇親会でなごやかに歓談し、そのあ



とも、就寝時間まで会話が続いた。

5月28日(日):「青年の家」の恒例の、朝の集いに全員で参加。同宿していた高校生徒会グループに、アレクサンドラ綿貫が通訳付きで挨拶し、実際のエスペラントを披露した。

朝食のあと、午前は、大会テーマの体験交流を深掘りする意見を、あらかじめ用意してもらっていた人や、その場での飛び入りもありのスタイルで、皆で意見交換をおこなった。

そのあと、山田義が「Semajno en Pjongjango」と題して北朝鮮旅行について講演した。

同日午後、全体集合写真を撮影したあと、東海地区の運動について全員参加で討論をした。

名古屋エスペラント会についての討議では、同会は後継者を得られず発展的解消となったが、名古屋エスペラント会の元・東海地区のエスペラント運動に、先人の刻んだ85年の歴史と足跡を参加者で振り返った。

東海エスペラント大会についての討議では、1948年以来の年表を作成中であることが披露され、過去の大会のなかにはバスでの移動大会があったことなども紹介された。また、2018年も継続開催することが参加者で合意され、大会後協議を名古屋エスペラントセンターで継続することになった。

猪飼吉計が「エスペラント聖書訳の歩み」をスライドの自動再生で上映した。

最後に、東海地区のエスペラント運動の活性化の議論が盛り上がり、あたらしい人の募集や、講習をうけられる体制づくりなど、さかんな議論となり、半時間の延長後、成功裏に大会は終了した。

La 66-a Esperanto-Kongreso de Tokaj okazis en 2017-05-27/28 kun 31 partoprenantoj.

(Hotta Hirohiko)



片岡忠さんを悼む

菊島 和子（東京都）

2017年4月9日、エスペラント点訳会の町村照美さんと、高知市のホスピスに片岡忠さんを見舞った。6月の再訪予告に、「そのころは自宅だ。娘の設計で診療室を改装するから」と喜んでいたが…1週間後、「昨16日夜に亡くなりました」と幸子（さちこ）夫人から電話をいただき、言葉を失った。

4月19日の告別式に高知へ。「一般参列者が多くて焼香に時間がかかるので、予定より早く開始する」という。高知県視力障害者の生活と権利を守る会・会長、高知県視覚障害者の就労を促進する会・事務局局長などを務め、視覚障害者を支援する方々や、参加していた社会活動・国際活動の仲間にも信頼されていたからだ。6月には守る会の手で『片岡忠さん・追悼文集』（非売品）が発行された。

180人ほどの参列者の中には、バングラデシュ人で滋賀県立盲学校理療科教諭のロイ・ビッシュジトさんもいた。社会福祉法人国際視覚障害者援護協会の盲留学生として高知県立盲学校で学んだ4年間、寄宿舎が閉鎖される週末や休暇に帰る「家庭」が片岡家だった。当然、エスペラント語も学んだ。

片岡忠さん（1944.05.30～2017.04.16）は朝鮮で生まれ、引揚げ途上での幼児期の栄養失調で失明。高知県立盲学校で理療を学び、「片岡漢方はり灸院」を自営していた。はりの技術は名人級で、東洋医学の知識も深く、「慈伸」の号を得てもいた。

告別式で親族が「賢かった」と語られたほど、好奇心旺盛な勉強家だった。社会性も持ち、常に穏やかな紳士だったが、弱視の幸子夫人は、怒りをこらえて苦しむ表情を見ることもあったという。

冒険心も強く、学校時代には自転車で疾走するなど、エロシエンコ顔負けのやんちゃだったらしい。

そういう人だから、視覚障害者とともに活動するボランティアサークル「ルーモ」の会員などが片岡家に入りし、片岡さんの活動に協力していた。2006年にロシアのピアニストでエスペランティストのアンドレイ・コロベニコフの演奏会を高知県立美術館ホールで開催できたのも、そういう方々の全面協力があったからだ。片岡さん自身も、高知市中のマスコミを一人で駆け回り、予告の掲載を頼み、ラジオに出演もした。本人が誠意をもって的確に行

2017.8

動するからこそ、周囲の協力も得られる。399席がほぼ満席。関わった全員が幸せになった。

エスペラント語を学び始めたのは28歳のとき。1972年7月15-16日の高松市での第59回日本エスペラント大会が、エスペラント語との初めての出会いの場になるはずだったが、集中豪雨で高松へは行けなかった。出版社勤務で、高知市での取材への途上で高松に寄った菊島は、松山経由で高知に向かった。電話で夕食を約束。「バス停に迎えに来て欲しい」と言われるまで、盲人とは知らなかった。

情報交換の結果、片岡さんは8月12-15日に京都府大山崎町の宝寺で関西エスペラント連盟が開催する第4回エスペラント林間学校に一人で出かけた。そこで大きなショックと多くの収穫を得て、10月には活動停止中だった高知エスペラント会を再建するところまで引っ張り、毎月の例会と毎週の勉強会を持ち、会長も講師も引き受けた。その後、東京のエスペラントの家主催の全国合宿や各地での日本エスペラント大会などにも度々参加した。盲人用電子機器も使いこなし、晴眼者へのデモ役でもあった。

エスペラント語の学力も、副会長を務めていた日本盲人エスペラント協会 JABE の中では抜群だった。書棚に“Plena Analiza Gramatiko de Esperanto”の点字版が並んでいたことからもうなずける。点字の、ギリシャ語、中国語、朝鮮語などの学習書もあった。

2003年からは国際盲人エスペラント大会 IKBE や世界エスペラント大会 UK にも度々参加して多くの友人を作り、メールのやりとりも頻繁だった。自宅泊めた外国人エスペランティストも数多い。

片岡さんのもう一つの功績は、『闇を照らすもうひとつの光 —盲人エスペラント運動の歴史』の執筆だ。資料が少ない中、編集長の嶋田恭子さんと二人三脚で、1983-1984年に月刊『エスペラントの世界』に連載。1997年に峰芳隆編で年表なども加えて書籍化され、リバーロイ社から出版された。

ホスピスに見舞った際、幸子夫人に、「死ぬまでにだれか一人だけに会えるとしたら…と聞いたら、嶋田恭子さんと即答した」と聞き、翌日、嶋田さんに片岡さんの携帯電話の番号を伝えた。嶋田さんはすぐに電話で話し、メール交換もできたという。最後に良い贈り物ができたと知り、ほっとした。

とはいえ、満72歳10か月半では、早すぎた。

各地の機関誌から

関西エスペラント連盟の事務所には、日本各地のエスペラント会や専門団体から、機関誌が送られてきます。事務所でただ保管しているだけではもったいないので、送っていただいた機関誌の中から、La Movado 読者のみなさんにとって興味深いと思われる記事を、不定期連載でご紹介します。

(編集部)

La kantado de “Ekfloros floroj” publikigita de NHK

Goroo Hitosi

Por la 102-a Japana Kongreso en 2015, kiun ni okazigis en oktobro 2015, ni elektis la temon “Espero trans la katastrofo”, kaj ni volis ke la kongreso spegulu diversajn aspektojn de la spertoj dum kaj post la Granda Katastrofo 2011. Traduko de la kanto “Hana wa Saku” estis unu el tiaj elementoj.

La kanton mi tradukis sub la titolo “Ekfloros floroj” kun la permeso de la flanko de la rajtoposedanto NHK. Kadre de la kongreso efektive oni kantis ĝin sub la gvido de S-ino SAITO Yasuko kaj kun pianoakompano de S-ino KANAHARA Emiko (ambaŭ Oomotanjoj) plurfoje kaj ankaŭ ĉe la ferma soleno. Tio espereble aldonis specialan etoson al la kongreso.

Ĉe la permesdono pri la tradukado NHK sugestis min eventuale kontribui videodosieron de la kantado al la speciala angla-lingva retejo dediĉita al la kanto, “One million

people’s FLOWERS WILL BLOOM” (<http://www.nhk.or.jp/japan311/flowers/>). En la kongreso la kantadon kamerais S-ro KUROYANAGI Yositaka el Toyota, kaj de li mi ricevis du videodosierojn la sekvan monaton. Mi iom aranĝis la dosierojn kaj komence de la decembro mi rete sendis ilin al la menciita retejo de NHK.

Mi kontroladis la retejon dum kelka tempo, atendante baldaŭan publikigon de la videodosieroj, sed malgraŭ mia espero nia kantado ne aperis. Post du-tri monatoj mi devis jam rezigni. La afero iom post iom foriris de mia cerbo.

En decembro lastjare mi hazarde serĉis la reton per la frazo “Ekfloris floroj” kaj grand-surprize trovis ke la videodosiero (rearanĝita en unu, kun daŭro de iom pli ol 5 minutoj) estas jam publikigita. La publikigo estas datita je la 11-a de marto(!), ĝuste je la datreveno de la Katastrofo, pli ol tri monatojn(!) post mia alsendo.

Nun pasis de la kongreso jam pli ol unu jaro, kaj ĉi tio apenaŭ estas novaĵo. Nu ni tamen estu kontentaj. Oni diras: Fino bona, ĉio bona.

La kantado estas spektebla ĉe la supre menciita retejo, aŭ pli specife ĉe http://www.nhk.or.jp/japan311/flowers/video/254_10015_16.html

(仙台エスペラント会機関誌 Mejlŝtono n-ro 259 2017 januaro より転載)

[p.2 より]

② por や pro と組み合わせて、目的や原因を説明する。Fermu la fenestron, por ke la klimatizilo bone efiku.

(エアコンがちゃんと効くよう、窓を閉めなさい)

La anasido estis turmentita pro tio, ke ĝi estas malbela ol alilaj idoj.

(そのアヒルの子は、他のひなよりみにくいという理由でいじめられた)

③ tiel や tiom と組み合わせて、程度や結果を示す。Neĝulino estis tiom laca, ke ŝi tuj ekdormis en la lito.

(白雪姫はとても疲れていたの、そのベッドですぐに眠ってしまった)

Li estis tiel aroganta, ke la tuta vilaĝo malamamis lin.

(彼はごうまん、村全体が嫌っていたほどだった)

[この項続く]



御詠歌の翻訳を

江川 治邦 (和歌山県)

西国 33 か所観音霊場の御詠歌のエスペラント訳を提案します。1 年間程度の期間をかけて、これらの霊場が存在する各府県の有志エスペランティストが翻訳する。順次翻訳が終わった 1 番札所から、日本語の御詠歌とエスペラント翻訳を並べて La Movado に掲載してゆく。

西国 33 か所の府県ごとの数は、和歌山県 3、大阪府 4、奈良県 4、京都府 11、滋賀県 6、兵庫県 4、岐阜県 1 ですので、各府県別に割り振ってもあまり負担にならない。この事は実際のエスペラントの詩の翻訳学習と、翻訳者間の連帯に寄与し、地域貢献に繋がり、PR 効果も期待できる。京都府(11 の御詠歌)と滋賀県(6 の御詠歌)には少し多めの札所があるため、2～3 人で翻訳担当しても良い。

エスペラントが地域に開かれて見える宣伝になる。翻訳後に出版(日本語とエスペラントの対訳)できれば、①英語にも翻訳されていないので、各種マスコミでの宣伝効果が期待できる(新聞の各府県の地方版が取りあげる)。②他の言語で翻訳されていない日本文化の発信は一番煎じが PR にとって大事。③霊場であるお寺はもちろん、巡礼者にもエスペラントに関心を持たせ得る。④このような実際の翻訳行動は、人工語エスペラントは御詠歌と言う詩も訳せる言葉であることを大衆に気付かせ得る。

※ 第 1 番 青岸渡寺、第 2 番 紀三井寺(金剛宝寺)、第 3 番 粉河寺、第 4 番 施福寺、第 5 番 葛井寺、第 6 番 南法華寺(壱阪寺)、第 7 番 岡寺(龍蓋寺)、第 8 番 長谷寺、第 9 番 興福寺南円堂、第 10 番 三室戸寺、第 11 番 上醍醐寺、第 12 番 正法寺(岩間寺)、第 13 番 石山寺、第 14 番 三井寺(園城寺)、第 15 番 観音寺(泉涌寺塔頭)、第 16 番 清水寺、第 17 番 六波羅蜜寺、第 18 番 頂法寺(六角堂)、第 19 番 行願寺(革堂)、第 20 番 善峯寺、第 21 番 穴太寺、第 22 番 総持寺、第 23 番 勝尾寺、第 24 番 中山寺、第 25 番 清水寺(播州清水寺)、第 26 番 一乗寺、第 27 番 圓教寺、第 28 番 成相寺、第 29 番 松尾寺、第 30 番 宝厳寺、第 31 番 長命寺、第 32 番 観音正寺、第 33 番 華厳寺、番外 花山院菩提寺、元慶寺、法起院

2017.8

長崎の子供たちのソウル UK 行き断念

盛脇 保昌 (長崎県)

長崎でエスペラントを学んでいる子供たちをソウル UK へ連れて行こうと指導者の大江由紀さんと相談し、大人 7 人、子供 7 人でソウルへ行き、IIK(Internacia Infana-adoleskanta Kongreso)に参加しようと、IIK の Gvidanto の金子暁実さんに紹介してもらった、IIK の韓国世話人の Songanta さんと何度かメールで連絡を取っていました。ところが、北朝鮮情勢が緊迫してきたため、小さな子供たちには危険だと断念することになりました。残念ですが、またの機会に期待したいと思います。

La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La M

宇土エスペラント会：ザメンホフ没後百年

ザメンホフ没後 100 周年に当たり、ユネスコが顕彰していることを前面に出して、ザメンホフの肖像画を含む 5 枚組の展示資料を作成し宇土市内各方面に展示を依頼し、行事や保育園、など 9 か所での展示を行った。 [←野村 忠綱]

福岡エスペラント会月例会

6 月 18 日の例会は 15 時～19 時、福岡市国際会館で参加者 7 名。La Espero 合唱、関西大会参加報告(武藤)、福ネット連絡会参加報告(武藤)、初級講座報告(武藤)。輪読は“Vojaĝo kun Katrina”、歌は“ABC”。作文練習は R.O 誌の古い号を利用。7 月の月例会は 9 日。 [←武藤 たつこ]

香川県内のエスペラント会の動向

香川エスペラント会例会：

7 月 23 日(第 4 日曜、和室 3 階、以下同じ)、8 月 27 日、9 月 24 日、10 月 22 日。また、アイパル香川にて、毎月原則として第 4 日曜日 13 時半～15 時半。

東かがわエスペラント協会：

毎月第 2 木曜日 19 時～21 時。テキストは“KUNVOJAĜU”。

善通寺エスペラント会勉強会：

「ルルルシー」にて毎月原則として第 4 土曜日の 15:00～17:00。 [←小阪 清行]

第 18 回中国・四国エスペラント大会

Kongreso de Tyugoku kaj Sikoku

日にち: 2017 年 9 月 30 日 (土)、10 月 1 日 (日)

場所: 国民宿舎「良寛荘」(岡山県倉敷市)

La Unua Informilo: http://www.geocities.jp/mirinda_mondo/2017_okayamala.htm

「えほんのもり」で世界の楽器コンサート

6 月 5 日に、エスペランチスト伊藤俊彦さんの奥さんが主宰する「えほんのもり」(愛知県岩倉市)で堀泰雄さんが「世界の楽器コンサート」を行ったことが 6 月 7 日付の中日新聞に掲載された。

コンサートの日には、昼過ぎに児童館の子ども 12 人ほども来て、合計では 60 人以上の参加があった。 [←堀 泰雄]

宮崎エスペラント会例会

4 月 1 日 (土) 14:00 ~ 15:30 宮崎市民交流センターで。内容は、“La Movado” n-ro 794 の配布、輪読 “Vivo de Zamenhof” (以下輪読同じ)。

4 月 15 日 (土)、4 月 29 日 (土)。

6 月 3 日 (土) “La Movado” n-ro 795、796 の配布、“Esperanto en Azio” n-ro 95 の回覧、輪読。

6 月 17 日 (土) 輪読。 [←近藤 方彰]

京都エスペラント会に Siva さん

京都エスペラント会は 6 月から、水曜昼のほかに土曜午前にも例会を行っている。この変更を機会に、ここ数年の講習会受講者に例会の参加をよびかけ、ことしの受講者の中から 3 人が入会した。

5 月 31 日の例会に、インドの Siva さんが出席。



勤めている銀行での仕事についてや、インドの言語事情について、詳しい話を聞いた。 [←相川 節子]

『日本からの報告』 20 年

堀泰雄さんが第 66 回関東エスペラント大会の記念品として、“Raportoj el Japanio 20” を出版した。1998 年から毎年出し続け 20 年に。 [←堀 泰雄]

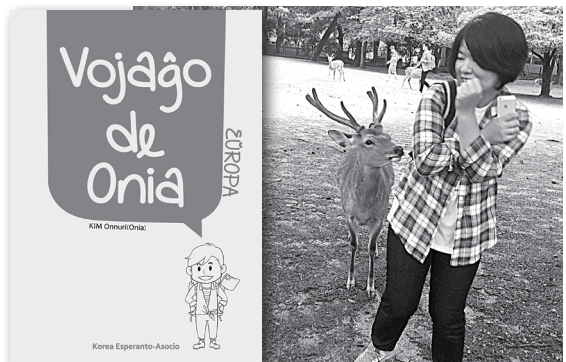
Siva さん京都散策

関西エスペラント大会前の 6 月 1 日 (木) に、Kotha Naga Siva Kumar さんは相川節子さん、佐野真紀さんとともに京都を散策した。写真は龍安寺の石庭で。 [←佐野 真紀]



Onia さん関西訪問

韓国の Onia さんは大会後、奈良、神戸、亀岡など関西各地を訪問した。Onia さんは自作イラストとエスペラント文で綴った欧州旅行記 “Vojaĝo de Onia: Eŭropa” を 2013 年に出しているが、今回の日本旅行も “Vojaĝo de Onia: Japanio” として出版する予定。



Vortkruca enigmo

Redakcio

Vicigu adekvate 8 literojn trovitajn en la kvadratoj kun steleto. Tiam vi akiros profesion en medicina kampo.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de aŭgusto, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retpoŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

1	2	3	4	5	6	7	8
9			*			10	
				11		12	
13	14		15		16		
17	*		18				19
		20			21	22	
	23		*			24	25
26					27		
28	*						29

Horizontale: 1. Aparato por observi malgrandajn aĵojn, ekzemple bakterion.(x) 9. Malo de okcidento.(x) 10. Pronomo, kiu montras la parolanton mem.(x) 11. Trinki alkoholaĵon.(x) 13. Parto de maro, preskaŭ ĉirkaŭita de tero.(x) 16. Pronomo de la tria personalo.(x) 17. Papilio flirtas de floro ~ floro.(x) 18. Kolora likvaĵo por skribi aŭ presi.(x) 19. Patro de edzo estas ~patro.(x) 20. Onkl~o estas frat~o de patro aŭ patrino.(x) 21. Ĉe botisto la ŝuo estas ĉiam kun ~o.(x) 23. ♪ Forte ~as muroj de miljaroj inter la popoloj dividitaj...(La Espero) (x) 24. Persono, kiu uzas Esperanton, estas esperant~o.(x) 26. Double kvar.(x) 27. Dronanto ~ herbeton kaptas avido.(x) 28. En la fino de letero ni skribas: ~e via.(x) 29. Sufikso signifanta grandecon aŭ

intensecon.

Vertikale: 1. Hieraŭ, hodiaŭ, ~.(x) 2. Serpento ~as sur tero, birdo ~as en aero.(x) 3. Antikvaj homoj ne sciis, ~ okazas fulmo kaj tondro. (x) 4. Prefikso.(x) 5. Moviĝo de akva surfaco en maro aŭ lago.(x) 6. La robo estas ne loza, sed ~a.(x) 7. Origine "publika veturilo", nun vorto uzata pri iuspeca teatraĵo aŭ filmo.(x) 8. Dorno ~as.(x) 12. Sufikso.(x) 14. Hirundo estas pli rapida ~ pasero.(x) 15. Stato de enspezo kaj elspezo.(x) 20. Participo preterita.(x) 22. Posedanta multan monon.(x) 23. Ilo por sporto sur neĝo.(x) 25. "Bonan ~on!" estas kutima saluto.(x) 26. Gramatika finaĵo de verbo. (x) 27. Mon~o estas ordinare el metalo.(x)

La solvo al la junia enigmo: EKSPRESO

La ĝustan solvon donis 16 legantoj:

武藤たつこ、
水渡篤子、
前藤寛、
平井倭佐子、
西千寿子、
濱田國貞、
馬場祝栄、
久保田俱視、
にしりのこ、
中村文雄、
CA, TADA、

S	U	B	J	E	K	T	I	V
A	Z	I		M	A	R		E
L		N	I		F	I	B	R
U	T	O	P	I		N	E	K
T	A	K	S		A	K	T	
	B	L	I	N	D		O	S
S	E		L		M	A	N	K
A	L	K	O	H	O	L		E
L		E	N		N	E	S	T

Orion, Sayuri, Grebo, Kacu

楽しい作文教室(73) 成績

16人の方から応募がありました。()内は留意事項です。

うん、良いね:ヒー坊, ikona, Orion, CA, M.H., Fumi, Ivajo(① viaĝe), Eiko.

良いね: Drako(② 対格), Ĉielo(④ ŝato), T.Ku, Acuko, alfa(① ŝia), nori(telehono).

もうひといき: AG (telekomunumi), festo (① 語順)。

★モスバーガー服部店の入口の黒板に「6月12日今日はエスペラントの日」との表示。店員に聞いたところ、ネットで調べたとのこと。“Bonan tagon”とも書かれていた！ [←三澤一弘・写真も]



★6月12日のNHK「おはよう日本」は、「おはようございます。今日6月12日はエスペラントの日です。人工言語エスペラントに関する記念日で、1906年（明治39年）6月12日に日本エスペラント協会が設立されたことを記念して、日本エスペラント学会が制定しました」と放送した。 [←佐野寛]

※編集部注：「日本エスペラント学会」は2012年に「一般財団法人日本エスペラント協会」と改称し、1906年に設立された「協会」と同名となった。

★6月8日付朝日新聞の、「釜石の子支援報謝の旅基金代表の元教師・高館さん、犠牲者に捧げる歌携え北米へ」と題する記事で「高館さんの北欧の友人や、歌を国際共通語エスペラントに翻訳してくれた教員仲間らを通じ、支援者は欧米にも広がった」と。

[←堀 泰雄]

楽しい作文教室 10月号課題 (8月20日締切)

- ①昨日彼は、明日行くと云った。
- ②私は食事中テレビを見ていた。
- ③たくさんの人達が将棋を指している。
- ④彼らはコンピューターに勝てない。

(ヒント) テレビを見る televidi、～の間 dum、将棋 japana ŝako. veni, ludi, venki を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先：

[郵送] 〒 674-0092 明石市二見町東二見
515-1-811 塚本 猛

[電子メール] c_tak@esperanto.ne.jp
(件名に「作文」の文字を入れてください)
添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

★ SukeraSparo 制作の美少女ゲーム「ことのはアムリラート」では、エスペラント（ゲーム内では「ユリアーモ」）を話す異世界に迷い込んだプレイヤーが現地の少女と「一緒に学習」する。一般財団法人日本エスペラント協会が言語監修協力。 [←福田 政則]

ロンド・コルノ 2 段階入門講座

①「エスペラント語 入門短期集中講座」

10月12、19、26日（木曜3回、18時半から2時間）
受講料（教材費含む）：一般 1000 円、学生 500 円、高校生まで無料。内容：エスペラント語とその基礎文法の全体像を概観し、本格的学習に興味をもってもらうための講座。

教材：自主教材（「入門本格講座」と共用。点訳予定）

②「エスペラント語 入門本格講座」

11月2、9、16、30日、12月7、14、21日（木曜7回）
受講料（教材費含む）：一般 3000 円、学生 1500 円、高校生まで無料。「入門短期集中講座」修了者以外も参加可能。

会場：エスペラント会館（地下鉄早稲田駅 2 分）

連絡先：メール korno@esperanto.ne.jp 講師：菊島和子（Krizantemo）電話 03-3429-5173（菊島）

KLEG

事務局だより

★6月3、4日に大阪大学で開催された第65回関西エスペラント大会では、例年どおり KLEG 書店が開設され、200 点、213,970 円の売上がありました。

★書店の設営・運営には、事務局の大西真一さん、大畑賀代子さん、田熊健二さん、東藤薫久さん、図書部の染川隆俊さんのほか、相川節子さん、佐々泰弘さん、吉川奨一さんのご協力を得ました。

★良く売れたのは、福本博次さんが本大会にあわせて制作した「宮本正男編日本語エスペラント辞典（デジタル版）DVD」15部でした。それ以外に5冊以上売れたのは、次のとおりでした。

Simile al stelo en nokta ĉielo 13 冊

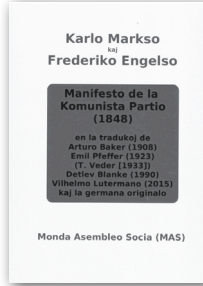
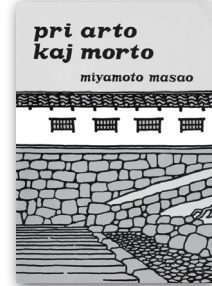
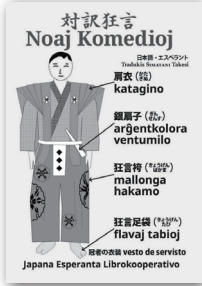
Ivan la malsaĝulo 8 冊

通い合う地球のことば国際語エスペラント 7 冊

Raportoj el Japanio 20 5 冊

震災鎮魂句 5 冊

★当連盟は、「2017 年活動年鑑」を発行しました。これは、当連盟の団体会員（加盟ロンドの正会員）と個人会員に配布されます。新たに入会した会員にもその都度配布されますので、該当するロンドは、事務局まで申し出てください。



★ 新刊・新着 ★

Noaj Komedioj 800 円
島谷剛訳『対訳狂言』。「附子」「川上地蔵」「盆山」などよく知られたものから新作「ザメンホフ」まで狂言 18 曲を収録。第 65 回関西エスペラント大会記念品。A5 版、112p.

Pri arto kaj morto 1000 円
宮本正男のエスペラント原作(第 2 版。初版は 1967 年エスペラント研究社刊)。山上憶良、大伴家持、世阿弥、千利休、芭蕉、写楽、歌麿、与謝野晶子の芸術と生の軌跡を描く。A5 版、119p.

Pasporta servo 2017 1300 円
民泊受入者のリスト『パスポルタ・セルヴォ』の冊子版が久々に登場。エスペランティストならではの旅のたのしみが味わえる。A5 版、248p.

Manifesto de la komunista partio 2100 円
欧州に幽霊が出る、共産主義という幽霊がマルクスとエンゲルスの『共産党宣言』。5 人(Baker, Pfeffer, Veder, Blanke, Lutermano)のエスペラント訳に独語原文を付した新版。A5 版、369p.
※「新版」と明記してご注文ください

La Decido — kapitalismo aŭ klimato 2100 円
『ショック・ドクトリン』(岩波書店)で知られる反グローバリズムの旗手ナオミ・クラインが気候問題を取りあげた話題の本。A5 版、223p.

Fundamento de la homaj rajtoj 1000 円
もっとも基本的・包括的な人権に関する国際条約である「世界人権宣言」「国際人権規約(A 規約・B 規約)」を収録。〈人権〉が問い直されるいま、

ぜひ手元に置きたい一冊。A6 版、96p.

Raportoj el Japanio 20 1500 円
“Katastrofo de Japanio en la sesa jaro” 堀泰雄による「報告」最新刊。東日本大震災被災地の訪問をつづける著者が見つめる日本の「いま」。図版多数。A5 判、237p.

※ 3・11 以降毎年、の状況を丹念にまとめた Raportoj 15～19 も合わせてどうぞ(1500～1300 円)

東日本大震災 震災鎮魂句 500 円
Hajkoj pri la japana katastrofo. 「黒々と津波は翼広げけり」—釜石の俳人・照井翠(俳誌「寒雷」「草笛」同人)の俳句を堀泰雄が翻訳、写真と文を添えて世界へ発信。A4 判、32p.

Historio de la E-movado inter la blinduloj 4200 円
1888 年以降の盲人エスペラント運動の歴史をたどる(Kreitz, Gonin ら編)。

★ 再入荷 ★

Ĉeriza ĝardeno 3700 円
Ĝambo rafiki 1700 円
Dio ne havas eklezion 1600 円

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

編集ノート



★ 回復が難しい病状と聞いてはいましたが、峰芳隆さんのご逝去はやはり衝撃でした。追悼文を募集します。原則として半ページ(23 文字×40 行。エスペラントなら約 260 語)の長さで、編集部までお送りください。締切は 8 月 20 日です。(相川 節子)

発行所：ラ・モバード社 編集：相川 節子 発行人：染川 隆俊 定価 280 円 送料 62 円 1 年 3800 円 送料 共本局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町 1-11-46-204
電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp
九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南 2-8-7 武藤たつこ方 電話 (092) 923-2877
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 771-0371 徳島県鳴門市北灘町櫛木字観音面 14-1 木谷 奉子方 電話 (088) 688-1098